

2024年度 環境経営レポート

対象期間：2024年4月～2025年3月



エコアクション21
認証番号0006652

2025年 5月 20日発行

アイオイ設備工業株式会社

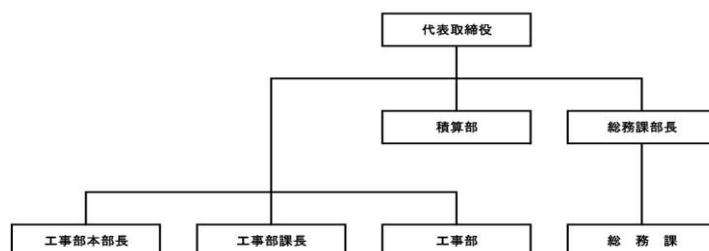
目 次

1. 組織の概要 及び 対象範囲
2. 環境経営方針
3. 環境経営目標とその実績
4. 環境経営計画の取組計画と結果の評価及び次年度の取組内容
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無
6. 代表者による全体評価と見直し・指示

1.組織の概要 及び 対象範囲

- (1) 事業者名 アイオイ設備工業株式会社
 代表者氏名 代表取締役 中地 綱
- (2) 対象事業所 アイオイ設備工業株式会社 本社
 所在地 〒655-0861兵庫県神戸市垂水区下畑町字清玄作山550番50号
 上記のほかに事業所はありません。
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者及び連絡先
 環境管理責任者氏名 代表取締役 中地 綱
 連絡担当者氏名 総務課 中地 和
 TEL：078-754-2715 FAX：078-754-2718
 メールアドレス：cad@aioi-up.com

組織表



- (4) 対象事業活動
 給排水設備工事、空調換気設備工事、消防設備工事、機械設備工事の設計施工
- (5) 建築業の許可
 管工事業 許可番号:兵庫県知事許可(特-4)第101612号 令4.7.18~令9.7.17
- (6) 事業の規模

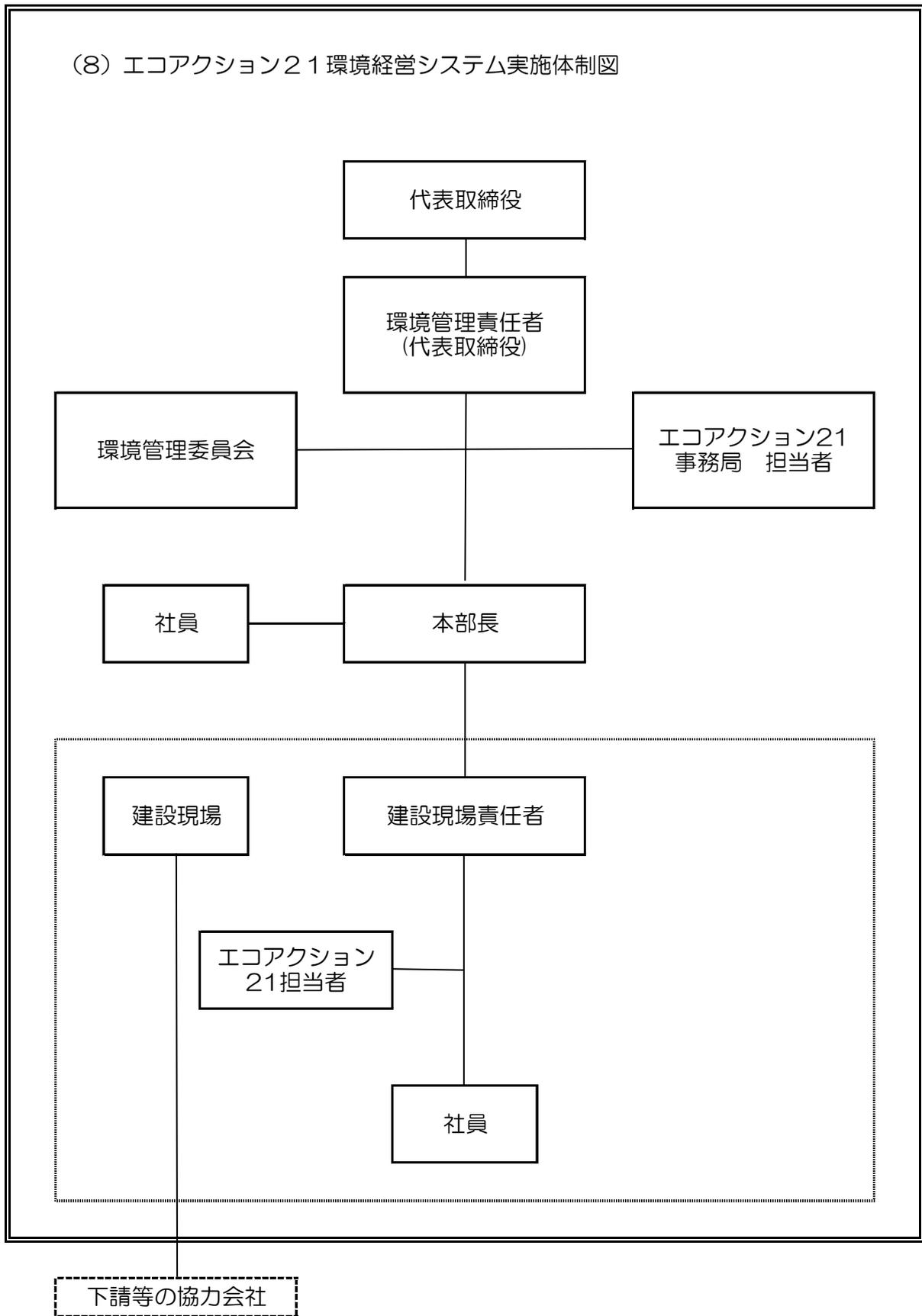
項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
工事件数	件	27	29	16
売上高	百万円	1,000	450	761
従業員数	人	12	12	11
事業所 床延面積	m ²	309.77	309.77	309.77

(7) 主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量 (電力・ガソリン)	kg-CO ₂	24,005	23,419	21,892
産業廃棄物排出量	t	3.57	1.57	2.52
水使用量	m ³	66	77	84

- *二酸化炭素排出係数
 →2018年度実績0.334 kg-CO₂/kWh(関西電力を使用しています)
- *化学物質の使用実績はありません。
- *一般廃棄物排出量は430.0kgでした。

(8) エコアクション21 環境経営システム実施体制図



2. 環境経営方針

1. 環境理念

当社は、何事にも否定論から入らない、何でも出来る設備会社を目指しております。顧客第一に考え納得のいく施工設計を営む中で、環境保全が経営の重要課題であることをふまえ社員一丸となって自主的・積極的に環境負荷の低減に努め、カーボンニュートラル・SDGsの実現に貢献します。



2. 行動指針

当社は給排水設備工事・衛生設備工事・空調設備工事及び機械設備工事等の設計施工管理の事業活動を通じて次の項目に取り組みます。

- (1) 環境関連法規制等を遵守します。
- (2) エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、汚染の予防と継続的改善に努めます
- (3) 事業活動全般に於ける環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。
 - ①二酸化炭素排出量の削減（電気・ガソリン）
 - ②紙資源の節約
 - ③廃棄物排出量削減(分別の徹底)
 - ④水使用量削減
 - ⑤全ての現場に於いて環境への取組を自己チェックし、環境負荷を低減する
 - ⑥グリーン購入の推進
 - ⑦環境配慮型設備工事の推進
 - ⑧品質管理、安全管理により顧客、従業員の満足向上を図る

3. この環境経営方針は全従業員に周知すると共に社会にも公開します。



2010年6月1日制定

2024年4月1日改定

アイオイ設備工業株式会社

代表取締役 中地 綱

3. 環境経営目標とその実績

当社の主な環境経営目標とその実績は次の通りです。

項目	年度 目標・実績		基準年度		2024年度 2024.4~ 2025.3			2025年度 2025.4~ 2026.2	2026年度 2026.4~ 2027.2	2027年度 2027.4~ 2028.3
	単位	実績	目標	実績	目標達成率(%)	目標	目標	目標		
二酸化炭素総排出量:21,892kg-CO2(電力+ガソリン)										
電力	(事務所) 使用量	kWh	21,426 2023年度 実績	21,211	20,724	102	20,998	20,788	20,580	
	削減率 (前年度比)	%	—	1	3	◎	1	2	3	
二酸化炭素排出量:6,921kg-CO2										
ガソリン	(事務所) 燃費の向上	km/l	16.81 2020年度 実績	16.98	17.20 (6,452L)	101	16.98	16.98	16.98	
	改善率 (2020年度比)	%	—	1	2	◎	1	1	1	
二酸化炭素排出量:14,971kg-CO2										
上水	(事務所) 上水使用量	m ³	120 2020年度 実績	113	84	135	113	113	113	
	削減率 (基準年度比)	%	—	6	26	◎	6	6	6	
紙資源	(事務所) コピー紙使用量	冊	143 2020年度 実績	142	132	107	142	142	142	
	削減率 (基準年度比)	%	—	1	8	◎	1	1	1	
廃棄物	(建設現場) 産廃の分別の徹底度 評価ポイント	%	—	100	100	100	100	100	100	
	(事務所) 一般廃棄物の分別の徹底度 評価ポイント	%	—	100	100	100	100	100	100	
環境負荷	(建設現場) 環境負荷低減自己チェック 評価ポイント	%	—	100	100	100	100	100	100	
グリーン購入	グリーン購入法適合商品 (事務用品)の発注	%	—	100	100	100	100	100	100	
	グリーン購入法適合商品 (衛生・空換設備)の発注	%	—	100	100	100	100	100	100	

※その他、当社では現在化学物質の使用実績はありません。

※廃棄物、環境負荷、グリーン購入の100%表示の内容については、環境目標及び環境活動計画と進捗管理表に基づいている。

※廃棄物の項目で事務所の一般廃棄物発生量は55kgで再資源量は375kgでした。

(一般廃棄物の中の古紙・ダンボールについては業者委託により再資源化は100%です)

※達成率 = $(1 + \frac{\text{目標値} - \text{実績値}}{\text{目標値}}) \times 100$

※経過年度の二酸化炭素総排出量は2022年度24,005kg-CO2、2023年度23,419kg-CO2でした。

4. 環境経営計画の取組計画と結果の評価及び次年度の取組内容

環境経営計画	取組結果の評価	次年度取組
<p><u>電力使用量の削減</u></p> <p>①冷房時27℃、暖房時20℃を目標</p> <p>②IATソフィルターの清掃</p> <p>③部分消灯</p> <p>④パトロール</p> 	<p>①冷暖房時の温度管理ができた。</p> <p>②冷暖房使用開始前の清掃を実施した。</p> <p>③外出前の点検を徹底できた。</p> <p>④社員が自発的に実施した。</p>	<p>空調機器の入替により節電がすすみ尚且つ社員の気づきにより日々の節電ができた。今後も一層の節電に社員で意識的に努めたい。</p>
<p><u>自動車燃費の改善</u></p> <p>①日報義務づけ（月末提出）</p> <p>②急アクセル、急ブレーキ厳禁</p> <p>③燃費の認識</p> <p>④アイドリング禁止</p> 	<p>①毎月の提出が実行、管理が徹底した。</p> <p>②各自、意識向上が身についた。</p> <p>③各自燃費向上に努めることができた。</p> <p>④運転中の心がけが定着した。</p>	<p>社用車のエコカーへの乗り換えが進み燃料消費は減り燃費も向上しています。燃料費が高騰していますが、社員の意識も高まっているので、今後も燃費向上に努めたいです。ドライブレコーダーの導入も積極的に検討したい。</p>
<p><u>水資源の節約</u></p> <p>こまめな節水</p> 	<p>使用後、休日前の蛇口の点検</p>	<p>節水対応の衛生機器に交換し成果が表れている。今後も同様に節水に気を遣いたい。</p>
<p><u>紙資源の節約</u></p> <p>①印刷ミスの削減</p> <p>②裏面再利用</p> <p>③普段のカラーコピー禁止</p> <p>④両面刷り推奨</p> 	<p>①印刷前の再確認を徹底した。</p> <p>②メモ用紙などに再利用</p> <p>③提出用のみに徹底した。</p> <p>④枚数の削減に貢献できた。</p>	<p>現場規模が大きくなり役所や元請会社に提出する書類が多い。見積業務も多くペーパーレスが避けられない業務もある。最新の複合機の導入などでミスコピーは減っている。今後も一層努力したい。</p>
<p><u>一般・産業廃棄物削減</u></p> <p>①対象一般・産廃の徹底的な分別</p> <p>②廃棄物の種類を把握</p> <p>③古紙・段ボールはまとめて処分</p> <p>④マニフェスト管理</p> 	<p>①分別の徹底が習慣になった。</p> <p>②社内に分別用の箱を各種設置した。</p> <p>③古紙・段ボール回収に収集が徹底できた。</p> <p>④管理は都度行う習慣が身についた。</p>	<p>廃棄物への意識が高まり廃棄物の削減ができています。現場での廃棄物は元請の処理なので会社へ持ち帰る廃棄物は減少したためパッカンの規模を小さくした。今後も分別やりサイクルを徹底したい。</p>
<p><u>現場での環境負荷の低減</u></p> <p>①遵守する項目について発言</p> <p>②騒音は85デシベル以下だったか</p> <p>③整理、整頓、清掃</p> <p>④アイドリングストップ、空ぶかし厳禁</p> 	<p>①新たな項目の追加はなし。</p> <p>②騒音問題は遵守できた。</p> <p>③基本の作業として定着した。</p> <p>④近隣や環境に配慮できた。</p>	<p>①～④の項目については今後もこれらを基本とし一層の努力に努める。</p>
<p><u>グリーン購入</u></p> <p>①環境配慮型設備工事の推進</p> <p>②適合商品の発注</p> 	<p>①環境配慮した商品の選定に努めた。</p> <p>②社内備品発注の一括管理が実現できた。</p>	<p>次年度以降も見積段階より推奨、検討に努める。 グリーン購入に努める。</p>

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

1 主要な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用される主な法規等	遵守すべき要求事項	遵守評価
1.振動規制法	特定建設作業の届出	遵守
2.騒音規制法	特定建設作業の届出	遵守
3.廃棄物処理法	保管基準、委託基準、マニフェスト発行と回収 マニフェスト交付状況の報告	遵守
4.資源有効利用促進法	事業系、業務用廃リリノメカーへの引き渡しと再資源化費用の負担	遵守
5.家電リサイクル法	廃家電製品の運搬業者又は通商品化業務者に引渡し 及び処理料金の支払い	遵守
6.小型家電リサイクル法	事業者は、使用済小型電子機器等の収集若しくは運搬 又は再資源化を適正に実施し得る者への引渡し	遵守
7.自動車リサイクル法	使用済み自動車の引き取り業者への引き渡し	遵守
8.建設業法	建設業許可の取得 一括下請の禁止	遵守
9.建設リサイクル法	分別解体等で発生した特定建設資材廃棄物の再資源化	遵守
10.フロン排出抑制法	空調機器の適正な管理とフロン類の排出抑制	遵守

2.違反訴訟等の有無

- ・当社において定期的を実施する上記法規等の遵守評価の結果、環境関連法規等への違反はありません。
- ・なお、関係当局からの違反及び訴訟の指摘は過去3年間ありません。

6. 代表者による全体評価と見直し・指示 (全体評価と見直し実施日：2025.5.20)

見直し項目	変更の必要性・指示事項
1.環境経営方針	特に変更の必要なし
2.環境経営目標	項目により目標値の設定を厳しく且つ柔軟に設定する。
3.環境経営計画	特に変更の必要なし
4.実施体制他	特に変更の必要なし
5.代表者による総評	<p>昨年度、代表取締役就任し今までとは違う慣れない業務に追われ、あわただしく過ごした一年だった。その中の一つに環境活動への取り組みも取りまとめる側の立場へとなり改めて自社の環境への取り組みを考える年となった。建築現場での環境取り組みをはじめ各業者が一つ一つ規則を守り、それが環境活動へ繋がっていると再認識した。自社でできる取り組みもささやかなものではあるが環境への配慮はやがて未来へ繋がっていると確信している。今年は新入社員も迎えることができ、若い世代の育成にも励みたい。現在の環境活動が後の世代へ当たり前のように引き継がれていくように社員一同で努力したいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">アイオイ設備工業株式会社 代表取締役 中 地 綱</p>